

1920

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

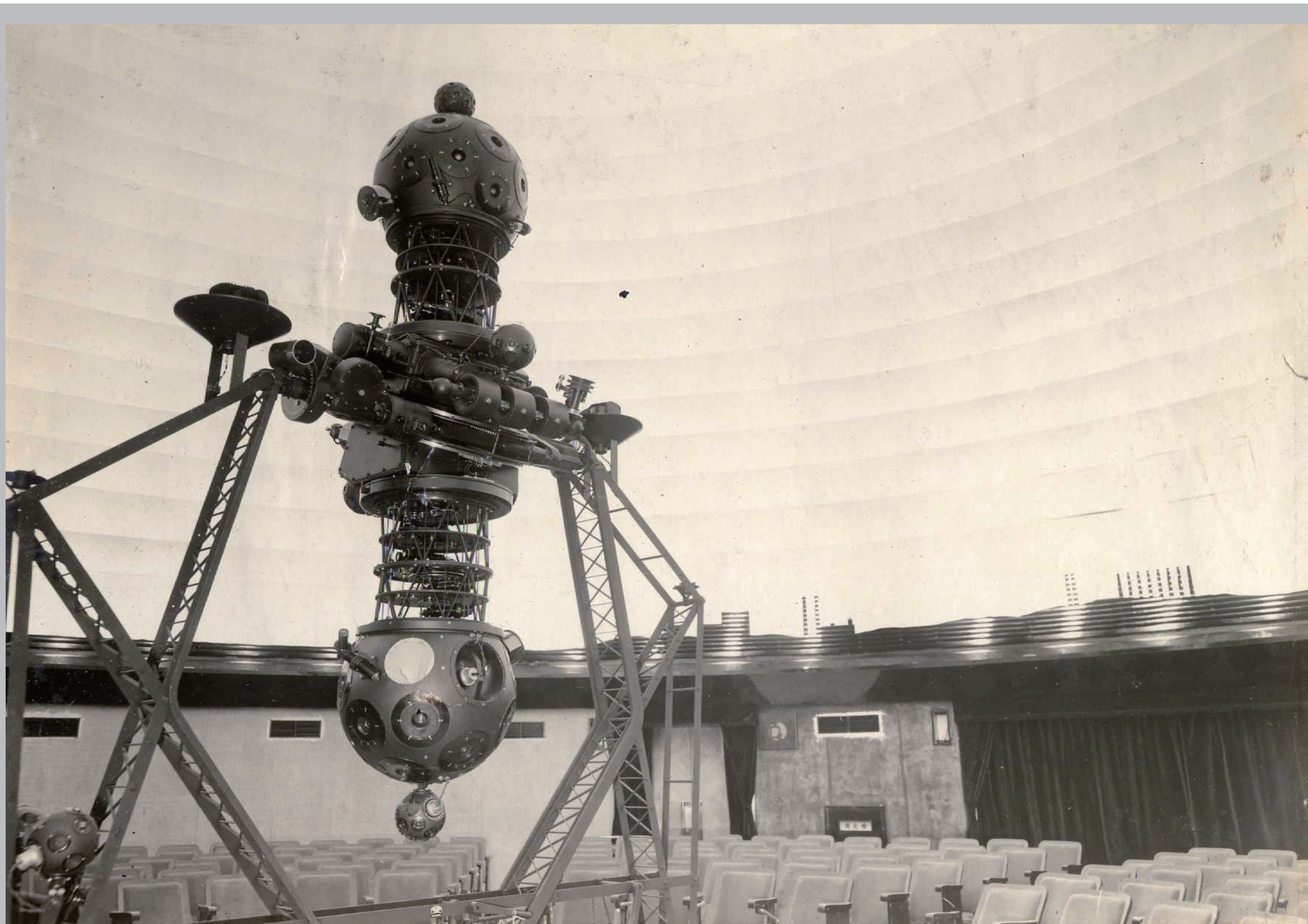
2020

プラネタリウムが日本に！

ツァイスⅠ型では、ドイツで見られる星空のみを映し出せました。
その後開発された世界中の星空を映し出す「ツァイスⅡ型」の
登場により、プラネタリウムは世界の各都市に広がりました。

1937（昭和 12）年、ツァイスⅡ型が大阪市立電気科学館に
日本初のプラネタリウムとして設置、
1938（昭和 13）年には東京・有楽町の東日天文館に設置されました。

戦後、1957（昭和 32）年には「ツァイスⅣ型」が設置された
東京・渋谷に五島プラネタリウムが開館しました。
しばらく海外製のものが主流だったプラネタリウムは
多くの来館者を集め人々の宇宙への関心を高めました。



大阪市立電気科学館天象館に設置されたツァイスⅡ型（1937 年）
協力：大阪市立科学館